



Share Rotary— Serve People

みんなにロータリーを—
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 74名 出席 53名 出席率 71.62% 前回出席率 75.68% 修正出席 64名 確定出席率 86.49%

会長報告

内山喜一君

過日、小松広穂さん40度近い発熱が4～5日続きその治療のため入院。又、石川寿男さんが胃潰瘍手術のため相前後して入院されました。

私と幹事でお二人の入院先宮原病院へお見舞いに参り、規定のお見舞金を差し上げて参った次第です。幸いお二人とも非常に元気です、順調に快方へ向われている様子とお見受けして参りました。

お二人から、会員各位へ呉々もよろしくとのこと。お伝え申し上げます。

幹事報告

齋藤隆君

1. 国際ロータリー第250地区礼文R.C.、利尻R.C. 利尻島R.C.認証状伝達式のご案内

期 日 礼文R.C. 5月19日(土)
利尻R.C.、利尻島R.C.合同
5月20日(日)

登録料 10,000円

申込メ切 4月5日事務局まで

2. 会報到着 東京ロータリークラブ
3. 新会員の推薦に関する氏名発表

匹田良平さん

東北電気工事(株)鶴岡営業所長 電気工事

飯野準治さん

庄内三菱電機商品販売(株)代表取締役

電気機器販売

委員会報告

国際奉仕委員会

三井健君

- 台中港区扶輪社と鶴岡R.C.姉妹クラブ統盟式

日時 昭和59年4月16日(月)

場所 温海温泉 万国屋

統盟式 午後5時

祝宴 午後6時

会員は日帰り7,000円、泊り12,000円。御夫人も御参加下さい。

- 鶴岡R.C.25周年記念式典

日時 昭和59年4月17日(火)

場所 庄内神社 参集殿

第一部式典 正午より

土曜会合唱

第二部祝宴 午後3時頃終宴

登録料 会員 5,000円

夫人 3,000円

会員は全員御参加下さい。

御夫人も出来るだけ御参加下さい。

会員スピーチ

湯田川のむかし (スライド)

中鉢徹君



1. 茂吉の歌

式内の由豆佐賣の神ここ
に在す透きとほる湯
は湧き出て止まず

齋藤茂吉

2. 金峯山頂より湯田川展望

湯田川郷は、庄内平野

から越後方面を経て、古代大和文化へ通ずる重要地点であって、古くから開かれた温泉があり、歴史研究家下田彌一郎氏は、古代庄内文化の発祥地であると極言している。

3. 日本三代実録

日本三代実録一仁和元年の頃に飽海郡西浜に石鏝の雨が降った。これは国に異変が起る前兆なる故に、大物忌神・月山神・由豆佐賣神に祈願する

庄内空港の建設を推進しましょう

よう、国司に命じた。とある。

4. 由豆佐売の森

仁和元年は平安時代前期 885 年である。

わが湯田川郷が古代より中世にかけて、田川地方の政治的中心地であったことがうかがわれる。

5. 鳥海山眺望

北に開ける平野の果に、秀麗鳥海山が千古の雪にかがやき、昔から人々の心を培ってくれた。

6. 湯田川の史跡地図

湯田川郷は、山と平野との接点にあり、温泉が湧き出る谷間の里として人間生活上の理想郷であり、今から四～五千年前の縄文時代から古代・中世へとその歴史は古い。

7. 北方の平野展望

湯田川郷は、原始古代人のこの上もない生活環境であったにちがいない。チャシ跡や館跡の多いことは、県下にもその例を見ない。

8. 岡山遺跡点景

湯田川北方の丘陵に岡山遺跡がある。岡山遺跡からは今から五千年位前の縄文時代前期から古墳期にわたる35棟の住居跡や、おびただしい石器・土器類が出土している。

9. 岡山遺跡住居跡

岡山遺跡の縄文時代住居跡。

10. 石 棒

岡山遺跡から出土した石棒。

この石を土壇に立てて崇拜した、大昔の人々の素朴さが伝わってくる。このように石棒を祭った遺跡は全国的にも数箇所をとどめるのみである。

11. 石 器

同じく岡山遺跡の石器。

12. 茗ヶ沢遺跡点景

湯田川郷には岡山遺跡のほか、茗ヶ沢、馬場山岩清水及び鍋鞍などの縄文時代の遺跡がある。これは茗ヶ沢遺跡。大日坂の道路から見える。

13. 茗ヶ沢遺跡石器

湯田川茗ヶ沢から出土した縄文時代中期の石器。

14. 茗ヶ沢遺跡土器片

同じく茗ヶ沢から出土した縄文時代中期の土器片。

15. 馬場山遺跡石器

馬場山から出土した縄文時代後期の石器。

右側は磨製石斧。これに柄をつけて「まさかり」とした。

16. 馬場山点景

馬場山は縄文遺跡であるとともに、中世においては豪族田川太郎の軍馬教練場でもあった。

17. 岩屋洞窟遠景

縄文時代が過ぎると稲作が行われ始めた弥生時代に入る。この頃の遺跡として、金峯山の西麓に「藤沢岩屋洞窟」がある。この岩屋洞窟も50年8月、第1回基本調査が行われた。

18. 岩屋洞窟正面

間口15米、奥行5.5米、洞窟の規模においては県下随一と言われている。

19. 岩屋洞窟出土品

岩屋洞窟から出土した弥生式土器片。

弥生時代とは、縄文時代のあと、農耕文化が起った時期であり、今からおよそ二千年前にあたる。

20. 岩屋洞窟基本調査点景

弥生時代の遺構は、庄内地方に於ても少数であり、貴重な遺跡として今後の調査に期待が寄せられている。

21. 鍋鞍チャシ跡

有史時代に入ると、奈良時代の頃の古いチャシ跡が各地に点在する。

これは奈良時代のチャシ跡、鍋鞍。

頂上台地の周囲は断崖となり、空濠が周されている。チャシは山地による蝦夷民族の住居であり外敵に備える防備でもあった。

22. 鍋鞍の石器

鍋鞍は又、縄文後期の遺跡でもある。鍋鞍から出土した縄文時代後期の石器薄片。

23. 鉢 巻 山

鉢巻山チャシ跡。

湯田川郷の東の突端は鍋鞍で、西の突端は鉢巻山。相対して湯田川古城の前線基地でもあった。

24. 高野山チャシ跡

高野山チャシ跡。

現在の湯田川水道配水池頂上であるが、この山は舎人山、上の山とも呼ばれ、麓には関塚の地名があり、古代田川郡家跡説もある。

25. 深沢チャシ跡

深沢チャシ跡の土壘。

俊嶮、石堂山に通ずる丘陵の尾根に東西32米、南北の袖6米、高さ1米の土壘が現存する。

26. 鎮台チャシ跡

鎮台チャシ跡の土壘。

巾3米、長さ36米。土壘の規模としてはかなり大きいものである。鎮台という名が物語るように

古代・中世に於ても、堅固な砦として使われたものと考えられる。

27. 須恵器大甕

湯田川には今から一千年前頃の遺跡も多い。

これは、はやと山遺跡から出土した須恵器の大甕。平安時代後期のものである。

28. 不動堂全景

藤沢の不動堂。

不動堂の縁起は古く、弘仁四年813年と言われている。かつては修験者が奉仕し、又、遊行上人も誓願せられた霊場である。

29. 不動明王像

不動明王は、大日如来の念怒の相とも言われ、を怒らし、焰の中にある。8月28日には夜中の大祈禱が行われている。

30. 乳銀杏とフクロウ

月の夜は、由豆佐売の森に鳴くフクロウが聞こえる。樹令一千年からなる由豆佐売神社前の乳銀杏。

31. 乳銀杏全景

幹囲り7米30、樹高37米。県指定天然記念物である。

32. 乳銀杏点景

この木には神霊が宿っているのであろう。昔から乳の出の悪い婦人たちは、この木を拜んだ。

33. 由豆佐売神社額

由豆佐売神社は、当地方きっての古社であり、白雉元年650年の創建と伝えられている。

34. 由豆佐売神社点景

日本三代実録、或は延喜式神名帳にも掲載された格式高い神社である。延喜式とは延喜5年905年、藤原時平らが勅命を受けて著わした古書である。

35. 由豆佐売神社拜殿

現在の拜殿は安永年中、今から二百年前の造営になるものである。

36. 最上義光黒印状

出羽国城主最上義光は、慶長17年、黒印百五十石を寄進している。これは神官に与えられた黒印状である。

37. 大祭行列 1.

春の大祭には、御神輿を中心とした行列が続く。

38. 大祭行列 2.

斎竹を先頭に、しんがりは大柵車、総勢二百人からなる行列である。

39. 御巫舞

行列が神社へ登ると、倭舞や御巫舞が奉納される。

40. 経筒

由豆佐売神社裏山の経塚から出土した銅製の経筒と須恵器の甕。経筒には佐伯時兼の銘が彫られているが、佐伯時兼なる人物が何人であったのか歴史研究家らの注目を集めている。

41. 経塚内部構造図

一号墳経塚の内部構造。このような营造方法のもっとも典型的な経塚の内部構造と言われている。

42. 石櫃

二号墳から出土した石櫃。凝灰岩製であり、たがねの痕跡が明瞭に認められる。

43. 経塚点景 1.

経塚山には、更に幾つかの経塚がある。この経塚も是非とも調査して歴史解明に当たりたいものである。

44. 経塚山点景 2.

西側から展望する経塚山。早春の雑木山には真白いコブシの花が咲いている。経塚は、56億7千万年後、弥勒菩薩の出現まで経巻を地中に埋めて保存しようと考えたものと言われている。

45. 長福寺全景

大日山長福寺。真言宗長谷寺の直末として格式は高く、古い宝物の数々を伝えている。

46. 長福寺文書

かつては村内に七坊を従え、非常な権力をふるった寺である。

47. 三千仏仏画

長福寺の三千仏仏画。金泥採色、或は截金を用いて一幅に一千四体の仏像が絵かれており、三幅を以って三千仏と言われているのである。

48. 三千仏仏画中尊

中尊は弥勒菩薩。南北朝時代の作品であり、浄土信仰の遺品としては貴重なものとして県指定文化財となっている。

49. 行基菩薩坐像

同じく長福寺の行基菩薩坐像。

50. 碑伝

湯田川には、鎌倉時代における文化財も又、各地に見られる。湯田川村はずれから出土した碑伝。修験者が山伏修行を終えたあとに建てる記念碑であり、修験道を知るうえに貴重なものとされている。鎌倉時代のものと思われる。

51. 大日如来座像

大日堂内の金剛界大日如来座像。砂岩をもって光背諸共彫りの立派な石仏である。様式は鎌倉時代を表現し、作柄に強味を具えている。鶴岡市指定文化財である。

52. 笠塔婆・卒塔婆

笠塔婆と卒塔婆。一見なんの変哲もない石のようではあるが、それぞれに阿弥陀如来座像が彫り出されている。

53. 笠塔婆

こういう形式の笠塔婆は全国的にも珍らしく、県下唯一のものである。双方共に鎌倉時代のもので、鶴岡市指定文化財である。

54. 大日堂跡

大日峠にある大日堂跡。嘗てはここに大日堂があり、大日如来像が安置され、笠塔婆、卒塔婆もここにあった。又、金峯修験者たちが峯中に向かう途次、始めてホラ貝を鳴らした場所でもあった。

55. 大日堂跡の石仏

今でも湯殿山木食行者供養塔や、青面庚甲などが残されている。

56. 大日峠旧道

大日峠の旧道。古代後三年の役から、中世田川太郎の盛衰、降っては戊申戦争等の人馬の道でもあり、幾多の興亡を知り尽している峠の道である。

57. 虚空蔵山遠景

湯田川郷の南方に聳える虚空蔵山。前虚空蔵或は新虚空蔵とも呼ばれている。

58. 虚空蔵菩薩座像

虚空蔵山の頂上には虚空蔵菩薩石像が安置されている。化物の附いた宝冠を載き左手には蓮花を持っている。鎌倉時代末期の作と思われる。

59. 虚空蔵山点景

虚空蔵山は、修験の山として人々の信仰を集めたであろう。ここにも鎌倉時代における湯田川文化の一端が想像される。

60. 八幡神社全景

藤沢八幡神社。創建祥かではないが、天文二年1533年輕井沢神社を八幡宮と改称した旨、古記にある。

61. 八幡神社棟札

元禄12年。社殿造営の棟札。

62. 八幡神社狗犬

八幡神社の木造狗犬。素朴さがこの狗犬の古さを物語っている。

63. 八幡神社の木鼻

同じく八幡神社拜殿の木鼻と彫り物。両袖の獅子頭が力強く迫ってくる。

64. 藤沢館

藤沢館遠景。戦国時代に入ると、武藤氏から上杉、最上氏へと領主が変わり、わが湯田川郷も兵馬控領の間にあった。武藤家の臣・中村小太郎が築いた藤沢館。

65. 藤沢館の空濠

頂上台地には南北に一本、東西に九本の空濠が残存する。

66. からめ槍

藤沢の旧家、後藤三七に伝わるからめ槍。

67. 一本松

藤沢館の城主中村氏がこよなくつくしんだと言われる一本松。安政年中落雷により焼燼。今の松はその形見に植えられたものと言う。

68. 湯田川神楽・獅子舞

湯田川神楽は江戸時代より伝わる伝統芸能。

69. 湯田川神楽悪魔払

芸種は、寄世囃子、獅子舞など九種があって、悪魔払いが中心となっている。

70. 湯田川神楽獅子とひょっとこ

湯田川神楽は魔の津神、いわゆるヒョットコが出て来ることから道化神楽とも言われている。

71. 湯田川神楽の道行

湯田川神楽は村人の悪魔退散、身体堅固を祈りながら家々を廻ってゆくのである。

72. 石堂山の落日

湯田川郷は、未だ解明されない数々の歴史を残し、石堂山の陵線を赤くして、今まさに夕日が沈まんとしている。

スマイル

- 藤川 享胤君 サンフランシスコに新しい寺建設された記念。
板垣 広志君 娘が山形銀行に就職。
斎藤 隆君 長男金沢工業大学経営学科に入学。

ビジター

- 鶴岡西R.C. 菅原年雄君・三浦正志君
(今週の担当者 斎藤 昭)